



# 和寒町表彰式

## 町政への功績たたえる

11月3日公民館において、和寒町表彰式が執りおこなわれました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典の簡素化・規模を縮小しての開催となりました。



### 功 勞 章

巖田 道明様 (三笠)



昭和43年に和寒町職員土木技術職として奉職されて以来、産業の発展と生活環境の向上を図るため、道路整備や河川改修など社会資本の整備にご尽力され、平成7年には建設課技術長、平成12年からは建設課長を務められ、平成10年に町から永年勤続表彰を受けられています。

町職員退職後は、商工会事務局長として3年間、商工業や観光の振興にもご尽力され、その後、平成22年からは、財政状況を含め、行政全般にわたり幅広く豊富な経験を活かしながら、2期8年間、代表監査委員として公正な立場で適正な指導と監査をしていただき、人柄も温厚誠実で、周囲からの人望も厚い方であり、本町の町政伸展に大きく寄与されました。

田代 里志様 (三笠)



昭和48年に和寒町職員農業土木技術職として奉職、以来、農業基盤整備事業など、土地改良事業にご尽力されました。平成4年から議会事務局長、企画商工課長、総務課長、さらに教育委員会次長を歴任され、平成16年に町から永年勤続表彰を受けられています。

平成18年2月教育長に就任し、子ども達の学力や体力、生涯学習を通じた人づくりなど、教育行政の振興に大きく寄与されています。

退任後は、生活安全推進会議委員、社会福祉協議会副会長を務められ、現在、塩狩峠記念館友の会代表として会の発展にご尽力されており、産業、教育、福祉など幅広い分野において、多大な貢献をされています。

巖田 道悟様 (西町)



平成12年5月に和寒町観光協会会長に就任以来、10年余り、厳しい経済情勢にあるなか、本町観光の推進に手腕を発揮され、産業及び地域振興にご尽力いただいています。

ご本人、自ら会長として全日本玉入れ協会を発足し、全国規模の大会の開催や、競技の普及をはじめ全国に玉入れ協会の支部を発足させ、和寒町の名を全国に知らしめるなど、ご功績は多大了。

平成22年には和寒町功勞表彰を受賞されておりですが、これまで総合計画審議会会長をはじめ、わっさおふるさと交流委員会会長を務められ、現在も情報公開・個人情報保護審査会会長などの要職でご活躍されており、公平な判断力と行動力をもって事にあたる人柄で、多くの方々から信頼されています。

### 功 勞 表 彰

森田 晴章様 (三笠)



農協職員現役のときに、消防団員として約15年間にわたり精励され、退職後、平成25年に民生委員児童委員協議会委員、平成26年には介護・保健・福祉対策検討委員会委員として、それぞれ会長・委員長として現在も務められており、社会福祉の振興にご尽力いただいています。また、保護司や社会福祉協議会役員としてご活躍されるなど、その功績は誰もが認めているところです。

西本 護様 (菊野)



平成7年から和寒農業協同組合監事、平成16年からは北ひびき農業協同組合理事、平成26年からは代表理事組合長として要職を歴任され、現在ではホクレン農業協同組合連合会代表監事としてご活躍されており、本町はもとより土別地域の農業振興や発展に寄与されるなど、その功績は誰もが認めているところです。